

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		コミュニティバス運行事業			担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44312
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	2 交通アクセスの便利なまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市コミュニティバス運行に関する協定書				
	小項目	2 公共交通の維持確保と交通安全の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの市内移動の確保および円滑化を図ることを目的に、コミュニティバス「くるリン」の運行を行うものである。								
目的 ※何のために		市内の公共交通による移動手段の確保。								
対象 ※誰・何を対象に		主に市内の高齢者や運転免許証を持たない人などの交通弱者。								
手段 ※どのように		コミュニティバス「くるリン」を市内全域で運行する。								
成果 ※何を求めるか		移動手段のない市内の高齢者など交通弱者が、円滑に移動できる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他(民間事業者)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	コミュニティバス運行事業	187,804,691
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	ふかやeパワー地域公共交通支援基金積立金	50,048,800
本事業の 主な業務		・コミュニティバス運行業務							・	
		・深谷市地域公共交通会議運営							・	
		・自動運転バス事業							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		コミュニティバス運行業務、深谷市地域公共交通会議運営	コミュニティバス運行業務、深谷市地域公共交通計画の策定、深谷市地域公共交通会議運営	コミュニティバス運行業務、深谷市地域公共交通会議運営、自動運転バス事業	コミュニティバス運行業務、深谷市地域公共交通会議運営、自動運転バス事業	コミュニティバス運行業務、深谷市地域公共交通会議運営、自動運転バス事業	
事業費	予算(現額)	126,218,000	159,031,000	295,142,000	268,641,000	260,496,000	
	決算額	93,428,653	130,935,465	270,966,968	237,853,491	0	
	財源内訳	国支出金	0	9,686,864	119,739,004	69,801,437	80,000,000
		県支出金	0	0	10,000,000	10,000,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	15,000,000	25,001,500	57,499,160	10,081,000
	一般財源	93,428,653	106,248,601	116,226,464	100,552,894	160,415,000	
人件費	従事職員数(人)	0.76	0.76	0.58	0.70	0.70	
	人件費相当試算※	5,980,864	6,087,726	4,768,900	5,933,966	6,165,942	
総事業費試算		99,409,517	137,023,191	275,735,868	243,787,457	266,661,942	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
		実績値の算出式								
活動指標 1	運行业者への事業費負担額	目標値	百万円	120.00	120.00	120.00	120.00			
		実績値	91.08	91.47	89.95	96.70				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行経費－運賃収入－国庫補助金収入／運行事業者への支払い実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	運行コース数	目標値	コース							
		実績値	9.00	9.00	9.00	9.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		運行コース数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 運行コース数の実績							
	実績値の算出式									
成果指標 2	1日の運行本数	目標値	便							
		実績値	80.00	80.00	80.00	78.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1日の運行本数は、あらかじめ定められているので目標値の設定になじまない。 / 実際の運行本数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	年間運行日数（くるりん）	目標値	日	359.00	360.00	359.00	359.00	359.00	359.00	
		実績値	359.00	360.00	359.00	359.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年末年始の6日間を除く毎日 / 実動運行日数							
	実績値の算出式									
成果指標 4	年間利用者数	目標値	千人	93.59	103.26	112.92	122.59	132.25	141.92	
		実績値	93.59	110.96	121.17	134.02				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		R4以降はコミバス交通計画で定める値を目標値とする※R7にて時点更新 / 運行事業者からの報告による							
	実績値の算出式									
成果指標 5	1日あたりの利用者数	目標値	人	260.70	286.83	314.54	341.48	368.38	395.32	
		実績値	260.60	308.21	337.52	373.33				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		成果指標 4 ÷ 成果指標 3 / 年間利用者数／運行日数※成果指標 4の見直しにともない、令和7年度該当項目を見直し							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	北部シャトル便＋周遊便の再編にともなう運行経費の増加により、運行事業者に対する市からの負担金も前年度から増加した。令和9年4月には全体的な新運行を予定していることから負担金の増加が見込まれるが、利便性の向上により利用促進を行うことで運賃収入の確保を目指し、事業運営の適正化を進めていく。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	前回運行再編時に設定した目標値について、設定期間が終了したことから今回、令和6年度に策定した「深谷市地域公共交通計画」の目標値へ見直しを行った。 年間運行日数は予定通りの運行を確保することができ、年間利用者は約1万3千人増、1日あたりの利用者は約36人増となり、目標を達成することができた。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	民間事業者への運行委託を行い一定の効率化は図られている。 また、バスロケーションサービスや自動乗降カウントシステムなどのデジタル化、デマンドバスのweb予約も導入済となっている。
			評価者 市街地整備係長 松本 拓陽